水 監 第 5 4 号
令和 5 年 9 月 5 日

水俣市長 高 岡 利 治 様

水俣市監査委員 永 田 靖

同 桑 原 一 知

令和 4 年度健全化判断比率及び資金不足比率の審査意見について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項及び第 2 2 条第 1 項の規定に基づき審査に付された、健全化判断比率及び資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類について、審査が終了しましたので、その結果について次のとおり意見を提出します。

令和4年度 健全化判断比率審査及び資金不足比率審査

第1 審査の根拠 水俣市監査基準（令和2年監査委員規程第4号）

第2 審査の種類 健全化判断比率審査
資金不足比率審査

第3 審査の対象 1 令和4年度決算に基づく健全化判断比率
2 令和4年度決算に基づく資金不足比率
3 1及び2の算定の基礎となる事項を記載した書類

第4 審査の着眼点

健全化判断比率、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、法令に適合し、かつ正確であるか。

第5 審査の主な実施内容

審査に付された健全化判断比率及び資金不足比率について、その算定の基礎となる事項を記載した書類と照合を行い、健全化判断比率及び資金不足比率が正確に算定されているか、その算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかの確認を行うとともに、関係職員から説明を聴取した。

第6 審査の実施場所及び日程

実施場所：監査事務局執務室内

日程：令和5年8月16日から令和5年9月1日まで

第7 審査の結果

審査に付された健全化判断比率及び資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも法令に適合し、かつ正確に作成されているものと認められた。

各比率の状況及び審査意見は、次のとおりである。

令和4年度 健全化判断比率審査意見書

1 審査の概要

この健全化判断比率審査は、審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

2 審査の期間

令和5年8月16日から令和5年9月1日まで

3 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された下記、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

記

(単位：%)

健全化判断比率	令和4年度	早期健全化比率	備考
①実質赤字比率	—	13.58	
②連結実質赤字比率	—	18.58	
③実質公債費比率	9.5	25.0	
④将来負担比率	15.2	350.0	

※表中の「—」は、実質赤字が生じていないため比率が発生しないもの

(2) 個別意見

① 実質赤字比率について

令和4年度は、実質収支額が1,324,406千円の黒字であるため、実質赤字比率は発生していない。

② 連結実質赤字比率について

令和4年度は、連結実質収支額が9,454,717千円の黒字であるため、連結実質赤字比率は発生していない。

③ 実質公債費比率について

令和4年度の実質公債費比率は9.5%となっており、早期健全化比率の25.0%を下回り健全な状況である。

④ 将来負担比率について

令和4年度の将来負担比率は15.2%となっており、早期健全化比率の350.0%を下回り健全な状況である。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。

令和4年度 資金不足比率審査意見書

1 審査の概要

この資金不足比率審査は、審査に付された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

2 審査の期間

令和5年8月16日から令和5年9月1日まで

3 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

記

(単位：%)

会計名	令和4年度	経営健全化比率	備考
①水道企業会計	—	20.0	
②病院事業会計	—		
③公共下水道事業会計	—		

※表中の「—」は、資金不足が生じていないため比率が発生しないもの

(2) 個別意見

① 水道事業会計について

令和4年度水道事業会計決算における資金不足はなく、資金不足比率は発生していない。

② 病院事業会計について

令和4年度病院事業会計決算における資金不足はなく、資金不足比率は発生していない。

③ 公共下水道事業会計について

令和4年度公共下水道事業会計決算における資金不足はなく、資金不足比率は発生していない。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。